



歌志内市長

村上隆興むらかみ たかおき

市民の皆さま、新年あけましておめでとございます。

輝かしい新年を健やかに迎えのこと、心からお慶び申し上げます。早いもので、私が市長に就任してから1年が経ちました。この間、多くの皆さまのご支援とご協力をいただきながら、全力で市政の運営にあたって参りました。

本年も現状に満足することなく、決意も新たに誠心誠意、市政運営に努めて参ります。

さて、昨年を振り返りますと、国内での明るい話題としましては、2020年夏季オリンピックが東京都で開催されることに決定され、経済効果だけではなく、新たな世代からのオリンピック選手の輩出や日本人

選手の活躍を通じて、国民に感動と喜びを与えていただけるものと大いに期待しております。

一方、本市におきましては、人口流出に歯止めがきかず、地域経済が疲弊する中、昨年より東光地区で野菜を中心とした水耕栽培を事業展開している企業が、ハウス棟や作業所を増設、文珠地区では、水晶製品の生産・販売を行っている企業が、水晶デバイスの量産設備を導入し事業を拡大するなど、地域における雇用の創出と活性化に期待をするものであります。

また、昨年10月に歌志内市地域福祉計画の策定にあたってご指導をいただいた北星学園大学との連携協定調印式を執り行いましたが、今後、なお一層の協力関係を増進させ、これまでの福祉行政を中心とした関わりだけではなく、教育、産業、文化など行政全般にわたる幅広い分野でのご協力をいただき、これからの市政運営に反映させて参りたいと考えております。

さて、昨年は一人でも多くの皆さまのご意見をお聴きするため、市内19箇所地区別市政懇談会を開催いたしました。

懇談会には、延べ247人の参加

をいただき、除雪などの身近な問題から町内会の合併など、町内会・自治会が抱えている課題まで、さまざまなお意見、ご要望を伺いました。

さらには、歌志内中学校や小学校の生徒・児童と、私たちの歌志内をどうしたら活力のあるまちにできるか、子ども達からも今後の行政運営に参考となる提案もいただきました。

皆さまから伺ったご意見などの中には、すぐに実行に移すことが、難しいものもありますが、一人でも多くの市民に、住んでいてよかったと思えるまちづくりに取り組んで参りたいと考えております。

皆さまのご協力により危機的な財政状況からは脱却を果たしたものの、地方交付税に依存した財政構造に変わりはないため、不要な事業は廃止または縮小し、その分の財源を今、市民が必要としている事業に振り替える「選択と集中」を現在、進めているところであります。

昨年、高齢者等の健康増進を目的とした「温泉施設利用優待事業」、高校生の子どもを持つご家庭に経済的な負担の軽減を図ることを目的とした「高等学校等就学支援金制度」、また、築後20年を経過した「チロルの湯のリニューアルオープン」を実施、

また、今月号の広報にも掲載しておりますが、暖房用の灯油価格が高騰しているため、高齢者世帯等への在宅福祉の向上を目的に「福祉灯油代助成事業」を実施する予定としており、今後につきましても、市民の皆さまの声を聴きながら、一貫して「小さくても住んでいてよかったと思えるまち」を市政運営の基本姿勢として進めて参りますので、引き続きご支援とご協力を賜りますよう、よろしくお願いいたします。

終わりに、本年一年が皆さまにとりまして、健康で幸多き年でありますよう、心からご祈念申し上げます。新年のごあいさつといたします。



歌志内市議会議長

山崎数彦

輝かしい新春を迎えるに当たり、市議会を代表して市民の皆さまに、謹んで新年のごあいさつを申し上げます。

昨年、市議会では、市民の皆さまに積極的な情報公開と説明責任を果たすため、まちづくりに関しての話し合いを市民の皆さまと共に深めながら、今後のまちづくりに反映させようと、市議会初めての取り組みとして議会報告会を開催しました。市内8会場において、100名を超える市民の皆さまの参加と多くの貴重なご意見やご要望をお寄せいただき、厚くお礼申し上げます。

また、市民の皆さまに少しでも議会を身近に感じていただけるように、議会だよりを7年振りに発行しまし

た。

さて、国内での明るいニュースとしては、昨年の流行語大賞で話題となった、滝川クリステルさんの「お・も・て・な・し」が招致の決め手と言われている、2020年夏季オリンピックが、1964年に開催されて以来、56年の時を経て再び東京で開催されることになり、スポーツを通じて、国民に多くの感動と喜びを与えていただけると大いに期待しているところであります。

本市の明るい話題としては、一昨年に引き続き昨年三月、将来のオリンピック選手を目指す国内の多くの子ども達がかもい岳スキー場に集い、「JOCジュニアオリンピックカップ全国スキー大会」が開催されました。この大会は本年三月にも開催されることになっています。

また、二月には、2014年冬季オリンピックソチ大会が開催され、かもい岳レーシングで練習を重ねた歌志内出身の石井智也選手が、全日本スキー連盟のナショナルチームに入りワールドカップ大会を転戦中であり、オリンピック出場を目指し頑張っていますので、切符を手に入れられるよう応援しています。

チロルの湯につきましては、市民

の期待を込め、昨年八月に館内及び浴室等の改修を終えリニューアルオープンしました。今後は集客の増加が図られるとともに、経営の安定化に期待するところであります。

教育的な関わりとしては、保護者の経済的な負担を軽減し教育の振興を図ることを目的とした高等学校等就学支援金制度が創設され、高等学校生徒等への新たな支援が生まれました。また、幼稚園が取り組んでいる「遊びを通じて体力向上」が、文部科学省の数値を大幅にアップさせるなど、歌志内の子ども達が健全に育つ環境づくりも図られています。

産業の面では、新分野開拓事業として、葉野菜を中心とした水耕栽培事業を展開している企業が、近隣レストランや大手スーパー等からの出荷に対する要望が多いことから、ハウス2棟、パック作業所を増設するなど、雇用の創出及び貴重な特産品として発展することを願うところであります。

このように明るい話題もあります。が、少子高齢化や人口の減少、厳しい財政状況など、市議会としましては、今後もさまざまな市政課題の解決に向け、市民の皆さまの声を十分お聴きし、しっかりとした議論を重

# 謹賀新年

市長・議長 年頭のごあいさつ

ねるとともに、市議会の活性化にも取り組んで参ります。

新春に臨み、市民の皆さまのご支援、ご協力をお願い申し上げますとともに、本年が皆さまにとりまして幸せで実り多い年となりますことを心よりお祈り申し上げます、新年のごあいさつといたします。



えと  
今年の干支

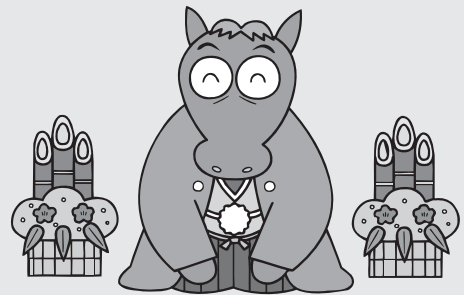
らま

# 午年生まれの皆さんです！

あけましておめでとうございます。

今年も広報では、平成26年の干支「午年」生まれの皆さんにご登場いただき、新年の抱負などをお伺いしました。

皆さん、今年も健康にはじゅうぶん気をつけてお過ごしください！



たなかじゅんこ  
▲田中 順子さん（昭和17年生）

東光三区にお住まいの田中さんにお話しを聞きました。

公民館の「絵てがみサークル」で会員と仲良く活動しており、自宅では趣味で小物や巾着袋などを作っているそうです。

昨年とはどんな年でしたかの問いかけに、「昨年はとても充実していました。市民歩こう会で市外に行って歩いたときは、天気も良くとても気持ちよかったです。今年もまた機会があれば参加したいです」とお話ししてくれました。

今年とはどんなことをしたいですかの問いかけに、「今年には健康に気をつけて、日帰りでも良いので夫婦で旅行にでも行きたいですね」とお話ししてくれました。

北門信用金庫歌志内支店の野澤支店長にお話しを聞きました。

「縁があり、平成23年4月に歌志内市に来ました。昨年は、市民の方や商工業者を数多く訪問させてもらい、相談・ご利用をいただき、あっという間の1年でした」と振り返ってくれました。

趣味は「へら鮎釣り」で今年は道具を新調して、リフレッシュしたいと語ってくれました。

休日に岩見沢の自宅に帰ると、愛犬だけが喜んで出迎えてくれるとお話ししてくれました。そんなこと無いですよね？家族の皆さんが暖かく出迎えてくれますよ。

最後に、「今年には健康管理に重点を置いて過ごしたいです」とお話ししてくれました。



のざわしやうぞう  
▲野澤 省三さん（昭和29年生）



▲工藤茂さん（昭和5年生・左）と、清野ウメさん（大正7年生・右）

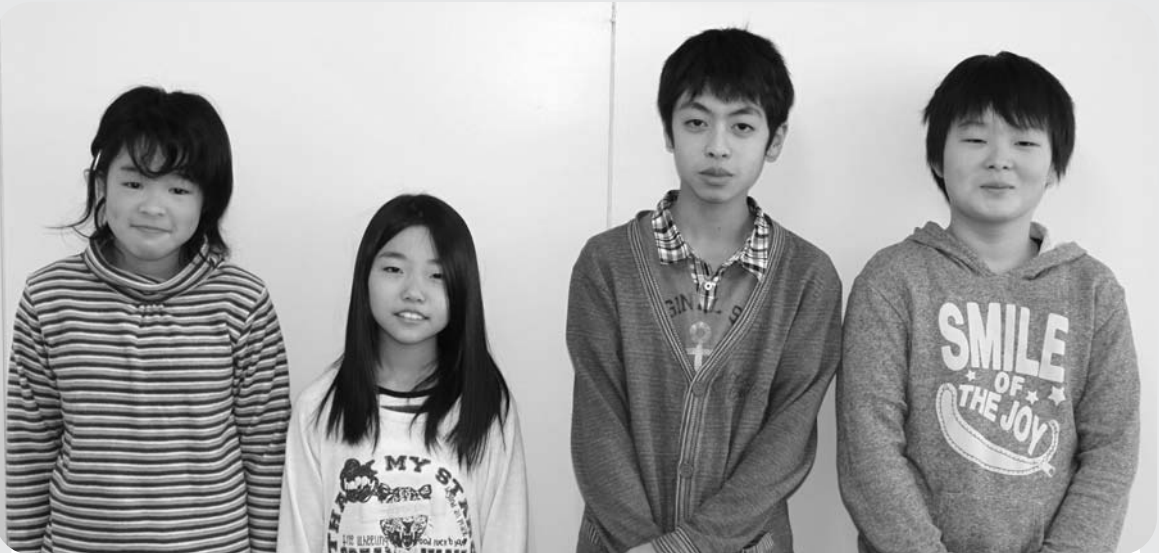
養護老人ホーム「楽生園」から、工藤さんと清野さんのお二人にお話を伺いました。

工藤さんは、「食堂で食事をするときみんな話をするのが楽しみです」と笑みを浮かべながら話してくれました。

清野さんは、「何不自由なく生活しています。旭川にいる孫が会いに来てくれるので、それを楽しみにしています。食事も美味しいです」とお話ししてくれました。

今年はどんな年にしたいですかの問いかけに、お二人とも、「今年は元気に病氣もしないで生活したいですね」と答えてくれました。

▶左から、  
藤柁斗くん、  
阿部好成くん（平成14年生）  
澁田亜裕美さん、  
高橋依舞さん、  
佐



歌志内小学校から、5年生を代表して4人の皆さんがお話を聞かせてくれました。

「将来はファッションデザイナーになりたい」と話してくれた亜裕美さん。「今はまだ上手く絵を描くことができないので、練習をいっぱいします」と話してくれました。

「学校の授業では体育が好きです」と答えてくれた依舞さん。「特にバスケットボールが好きです」と答えてくれました。お菓子作りが好きで誕生日のケーキを作ったりしているそうで、「将来はパティシエになりたい」と話してくれました。

スポーツ万能な柁斗くん。「得意な教科は体育で、跳び箱、球技が好きです」と答えてくれました。現在、市内のサッカーチームと砂川のチームに所属して練習をしているそうです。「去年は砂

川のチームで誘われて大会にも出ることができて良かったです」と話してくれました。

「国語の漢字の書き取りが好きです」と答えてくれた好成くん。柁斗くんと同じサッカーチームに所属していて、練習に励んでいるそうです。「今年もっと練習をして大会にも出たい」と話してくれました。

二人とも将来はサッカー選手を目指しているそうです。

今年小学校の最高学年の6年生になるので、ルールを守って今よりもっと仲良く、ケンカをしないで生活したいと、全員同じ思いでいるようです。

皆さんそれぞれの目標に向かってがんばってね。